

佐賀保育所の避難道整備は

安全性高く優先度は低い



あさの しげのり 議員 浅野 修一

答 藤本教育次長

佐賀保育所は風水害時にも安全性の高い施設であり、避難道整備の優先度は低いと考えている。危険を伴う無理な避難は避け、安全が確認されずから保護者に引き渡すこととしており、避難道の整備は考えていない。



大方中央保育所造成工事
赤枠内が盛土部分
(平成19年度)

答 橋田教育次長

大方中央保育所の入口部分の駐車場は、全てが盛土施工によるもので、避難時に支障が出ないか懸念される。現状での避難計画は、どのようなものか。

答 宮川住民課長

資源ごみの回収ステーション常設については、雨風の対策や衛生問題に加え、収集事業者の対応も現状では困難であると考える。また、環境衛生に関する条例としては、「黒潮町廃棄物の処理及び清掃に関する条例」のみとなっているが、現状では弊害はないと考える。

問 昨年7月の豪雨災害で佐賀保育所は一時孤立した。早急な対応が必要と考えるが、避難道を整備する計画はないか。

答 徳廣情報防災課長

伊与喜小学校付近については、当初より整備する方針としていない。浸水区域外であり、津波、洪水への避難道の整備計画は防災上としてはない。冠水状態が解消されるまで、安全の面から留まることを徹底していく。



冠水した伊与喜小学校付近。赤枠内に佐賀保育所
(令和3年9月17日)

また、万が一、保育所の敷地内や避難道に何らかの問題が発生した場合に経路を変更し、一時避難場所を目指す取り組みをしている。



本庁舎北側、赤枠内が防災広場

衛生車のことは非常に重要な課題と考えている。事業者の意向も調査しながら、町として検討していきたい。

答 松本町長

衛生車のことは非常に重要な課題と考えている。事業者の意向も調査しながら、町として検討していきたい。

環境問題

資源・ゴミ回収所
収集事業者の
対応は現状困難